

春の叙勲 県内66人

春の叙勲が発表され、県内からは66人が受章した。内訳は、様々な分野で顕著な功績を上げた人をたたえる旭日章が17人、長年公務などに従事して功労を重ねた人に贈られる瑞宝章が49人。21日に発令される。(中綴章以上は25面にも掲載)

単独市政の決断に自信

旭日中綴章

元防府市長

松浦正人さん

76

「人生働き盛りの時期を地方自治にささげることができた。支えてくださった方々に感謝したい」と語る。防府市議、県議を経て、

1998年、防府市長に初当選。「防府の個性が生きてない合併になってはならない」と、単独市政を選択した。「現状の県央部を見るにつけ、決断は間違っていない」と確信する。市長時代5期20年を「財政再建やまちづくりなど

課題が多く、引き際を決めがたかった」と振り返った。全国市長会では2017

年6月から1年間、会長を務め、地方創生や教育環境の整備などを国に働きかけた。全国の現役市長に「まちづくりは永遠のテーマ。市民目線の感覚を忘れず、心身とも健康に留意し、職務にまい進してほしい」とエールを送る。(防府市)

